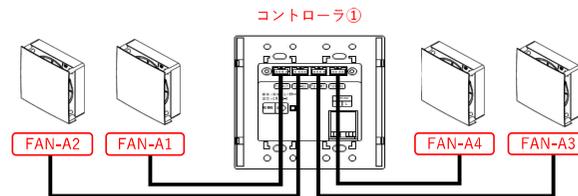


本プランの局所換気は推奨位置です。  
天井付けか壁付けにするかは現場でお決めください。

○エアースーブ 換気コントローラCR04-A・電気配線図

コントローラの表記は取扱説明書の9ページと異なっております。コントローラの配線は下記の図に沿ってコネクタを接続してください。



断熱部位 : 床・壁・天井

備考 : -

○エアースーブ 換気システム凡例

エアースーブDNK-70

	第1種換気 交互給排気型 (給排気)
	コントローラ
	換気経路・ドア下 アンダーカット
	換気対象外

木村太郎様邸

フード/防火指定 : キューハイ  
屋外フード色 : 未定

Airsave ダクトレス全熱交換型換気システム・DNK-70



作成年月日 : 2026/3/3

図面No: 1/2

作成者 : A

## 【換気計画の概要と設計担当・現場管理者様向け注意点】

- 弊社作成の換気プランは参考資料となります。  
施工者様及び建築業者様はプランの段階で図面の内容を確認し、進めてください。
- 本体位置によりベッドの頭上・カーテンレール・エアコン（室内機、室外機）・レンジフード・窓上が重ならないようご注意ください。
- ※施工前に現場確認を行った後、施工してください。
- 戸建住宅向けを対象に設計されており、弊社推奨のシステム部品で構成されております。非住宅物件については、エアースープ以外の換気機器の設置が必要になる場合があります。
- 換気プランは主に各居室を対象とし、換気システムで常時換気を行うように設計しております。居室以外の収納・水廻り空間等の換気対象外のエリアについては、弊社推奨品または、必要に応じた換気計画を行ってください。
- ※Air Save以外のスイッチ等の部材は現場でご用意ください。
- 換気対象エリアの建具には、アンダーカットを設けるなど、空気の流通経路を確保してください。
- 換気計画時に、ショートサーキット（給排気の短絡）を防ぐようにプランの段階で確認していただき、現場にご指示願います。  
※換気本体同士が近い場所にある時はショートサーキットする場合がありますので、ご注意ください。（将来的に間仕切り壁を作る予定の子供部屋など。）
- 本品はエアコンや他の換気材から1m以上、換気本体の周りに30cm程度の距離を設けてください。  
やむを得ずエアコンの下に設置する場合はエアコン下端から換気本体のセンター芯まで30cm以上距離をとり、お子様の手に触れない高さで取付けてください。
- 基礎断熱時の床下空間と屋根裏断熱の小屋裏空間は必要に応じて別途換気機器を設けてください。
- 天井裏等は、下地材をホルムアルデヒドの発散の少ない建築材料（第三種ホルムアルデヒド発散建築材料）とするか、機械換気設備を天井裏等も換気できる構造としてください。（室内仕上げは規制対象外の材料）
- 耐力壁面への設置、構造上の開口穴径、取付位置、補強や設置個所変更などは、プランの段階で確認し進めてください。
- 防火エリア・省令準耐火仕様の際は、消防法や各行政、建築主事の指示に従い、防火スリーブや防火ダンパーをご使用ください。
- 換気システムのお手入れ、将来にわたるメンテナンスが可能な場所に設置してください。  
※本機はお掃除やメンテナンスを要します。  
お掃除やメンテナンスができる高さ（1.8m～2m）のスペースに取付けてください。  
尚、安全にメンテナンスを行えるように、階段、吹抜への設置は避けて計画しています。
- 高气密住宅で、過度に負圧が高まると、ドアの開閉に支障が出たり、換気口からの逆転給気やエラー表示、結露水の逆流が起こる場合があります。局所換気扇については弊社推奨品（シャッター密閉型）をご使用ください。
- 換気ファンは局所換気（レンジフードやトイレなど）・給湯器・ボイラー類など燃焼器具から、距離を設けて取付けてください。
- レンジフードは同時給排型もしくは、レンジフード付近に専用の給気口を設けてください。
- 暖房用ボイラーや給湯器を室内設置型にする場合は、必ず、密閉配管型の機器をご採用ください。
- ボイラーや薪ストーブなど室内の空気を要する燃焼器具は、専用の給気経路や専用給気口を設けてください。
- 外部フードは防音用ではありません。
- 強風時や濃い霧、高温、外気の状態により運転を停止していただく場合があります。  
詳しくは取扱説明書をご確認ください。
- 磁器の強い家電と換気専用コントローラは距離を設けてください。誤操作・誤作動する恐れがあります。
- コントローラの運転スイッチや操作パネルの明るさがわかるような場所に設置してください。
- コントローラやファンの電気配線時は静電気による故障の恐れがあります。
- 本機（本体・コントローラ・屋外フード）の製品は、改良など予告なく仕様変更を行う場合がありますので、予めご了承ください。
- 電気配線や電気配線工事は有資格者並びに工事専門店様に施工をご依頼ください。

## 【換気施工店様へのお願い・施工上の注意点】

- 施工要領書に従ってコネクターとコントローラを確実に接続してください。  
※換気プラン図と表記が異なりますので、ご注意ください。
- 本体1セットに専用コード15m品が2本付属されております。  
コントローラとファンの配線距離は最大30mです。  
※ケーブルの長さが足りない場合は、延長ケーブル5m（別売）を中継し、使用してください。
- 出荷時のコントローラの台数設定は4台です。2台接続の場合は、別の台数設定が必要になります。（取付工事説明書 7. 初期設定をお読みください。下記QRコードからもご確認ができます。）
- 出荷時の注意書（換気システムを施工される方へ大切なお願ひ）及び施工説明書を必ずお読みいただき、施工してください。
- 弊社製品のスリーブ管を必ずご使用ください。
- スリーブ管の長さは外壁厚（柱面（石膏ボードの室外側）～外壁仕上げ材面+10～13mm）です。室内側の柱面までとし、内装仕上げ面もしくは石膏ボード面まで伸ばさなくてください。（ベースプレートが納まりません）
- ファンコネクタを取出す為の穴を空けてください。（本体左下直径20mm程度）  
大工さんと電気店さんと連携し、取付けてください。
- スリーブ本体が変形しない様に取付けてください。  
決してスリーブ内側からビス固定しないでください。蓄熱セラミックが抜けなくなります。
- スリーブ本体は2/100の外（水）勾配を必ず設けてください。
- 石膏ボード開口後、蓄熱セラミックの出し入れがスムーズか再度点検、確認してください。
- コントローラパネルを取付ける際はパネルが歪まないように強く締め付けないでください。  
パネルの反応が悪くなります。
- RC造の場合は、スリーブ管の先行配管が必要です。  
電気配線や外部フードの取付けに関しては、事前にビルダー様に取付け方法の確認を行い電気配線の経路確保が必要です。
- 各本体の設置場所は、「取扱説明書/取付工事説明書」のMEMO欄に記入の上、施主様のもとで保管してください。
- 詳しい施工方法、コントローラ初期設定方法については、下記QRコード（YouTubeキムラチャンネル）よりご確認いただけます。

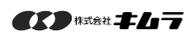


施工動画



コントローラ初期設定



木村太郎様邸	フード/防火指定	キューハイ	Air save ダクトレス全熱交換型換気システム・DNK-70		作成年月日	図面No:	作成者:
	屋外フード色	未定			2026/3/3	2/2	A